CampbellCollaboration

Plain Language Summary
Crime and Justice

2019

焦点をしぼった抑止策は、中程度の犯罪削減につながる

このレビューの結果は、先行対処的な犯罪削減戦略としての焦点をしぼった抑止策の利用拡大を支援する。

このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューでは、犯罪について抑止に焦点をしぼった警察活動の効果を調査する。このレビューは、焦点をしぼった抑止策の24の擬似実験的評価の結果を要約ないし分析したものである。このレビューは違法に活動的なギャングもしくはグループを対象とする12のプログラム、屋外の薬物市場を対象とした9つのプログラム、ならびに高リスクな個々の犯罪者を対象としたプログラムを含む、抑止に焦点をしぼった介入についての24の擬似実験的評価の結果を、要約ないし分析する。1件を除いて全て米国における研究である。

比較的少数のグループと個人は、犯罪のから得る利益に対して不相応な責任を負っている。焦点をしぼった抑止戦略は、特定のタイプの犯罪に関する犯罪行為を削減しようと試みる。これらの戦略は、全体的に中程度の犯罪削減につながっている。
犯罪は他の地域に転移するのではなく、むしろ、近隣地域そして類似した人々やグループに対しても防犯の利益が拡散する可能性が高くなる。

このレビューは何についてのものか？

特定の犯罪類型の犯罪行為を減らすために、焦点をしぼった抑止戦略は、法執行機関、地域の動員（コミュニティ・モビライゼーション）、および社会福祉を組み合わせる。この防犯戦略のカギとなる主要点は、継続的な犯罪行為の帰結と利用可能な社会福祉の結果を、対象者に対して直接伝えることである。

このレビューでは、抑止に焦点をしぼった警察活動と犯罪の関係を検証し、さまざまなタイプに焦点をしぼった抑止戦略とプログラム評価デザインを検討する。

何の研究が含まれているのか？

抑止に焦点をしぼった警察活動の介入に関する合計24の研究を確認した。すべての研究は2001年から2015年に公開された。23の研究が米国で、1つがスコットランドで実施された。確認した研究のいずれもが、無作為化比較試験デザインを使用していなかった。

このレビューの主な結果は何か？

焦点をしぼった抑止は、問題のある人々やグループによる犯罪行為を減らす効果的なアプローチだろうか？

そのとおり。利用可能なエビデンスは、焦点をしぼった抑止戦略が行われた場合、犯罪が全体的に減少することを示唆している。最も大きな低減は、違法活動をしているギャングまたはグループを対象とする焦点をしぼった抑止プログラムと、常習的な犯罪者を対象とする介入および麻薬市場を対象とした介入がそれにつづく。

一部のプログラムは他のプログラムよりも効果的であるのか？

効果的である。ギャング・グループ介入プログラムは、最大の効果があり、次に高リスクの個人プログラムがつづき、薬物市場介入（DMI）の効果は最小である。DMIプログラムは、実装の問題に苦慮する可能性が最も高く、効果が低下する。

このレビューはどれくらい最新のものか？
このレビューの執筆者達は、2015年10月までの研究を探索した。

キャンベル計画とは何か？
キャンベル共同計画とは、系統的レビューを公表する、国際的、任意的、非営利的な研究ネットワークである。本組織は、社会科学や行動科学の領域における取り組みのエビデンスを要約し、その質を評価している。本組織の目的は、人々のより良い選択とより良い政策決定を支援することである。

この要約について
この要約は、Anthony A. Braga, David Weisburd and Brandon Turchanによるキャンベル系統的レビュー‘Focused deterrence strategies effects on crime: A systematic review’に基づいている。

この要約を作成するためのAmerican Institutes for Researchからの財政支援に感謝の意を表す。

犯罪は他の地域に転移するのか？

そうはならない。周辺地域への著しい犯罪転移の現象を発見した研究はなかった。防犯の利益が波及しているというエビデンスはいくつか存在する。

このレビューの結果が意味するものは何か？
このレビューの結果は、先行対処的な犯罪削減戦略としての焦点をしぼった抑止策の利用拡大を支持するものである。実務家や政策立案者は、深刻な犯罪問題に対処するために、焦点をしぼった抑止プログラムを継続的に実施する必要がある。

更新されたレビューに含まれた研究の数は、前回のレビューに含まれている研究を併せて2倍以上ある。しかし、適格な研究が増加したのにもかかわらず、無作為化比較試験デザインを利用した評価がなかった。焦点をしぼった抑止策のエビデンスを確かなものにするためには、どのようなプログラムが犯罪を減らすのかについて我々の理解を深め、より方法論的に厳密なプログラム評価と、戦略に関する特定の構成要素をさらに探求する必要がある。

AIR®
AMERICAN INSTITUTES FOR RESEARCH®